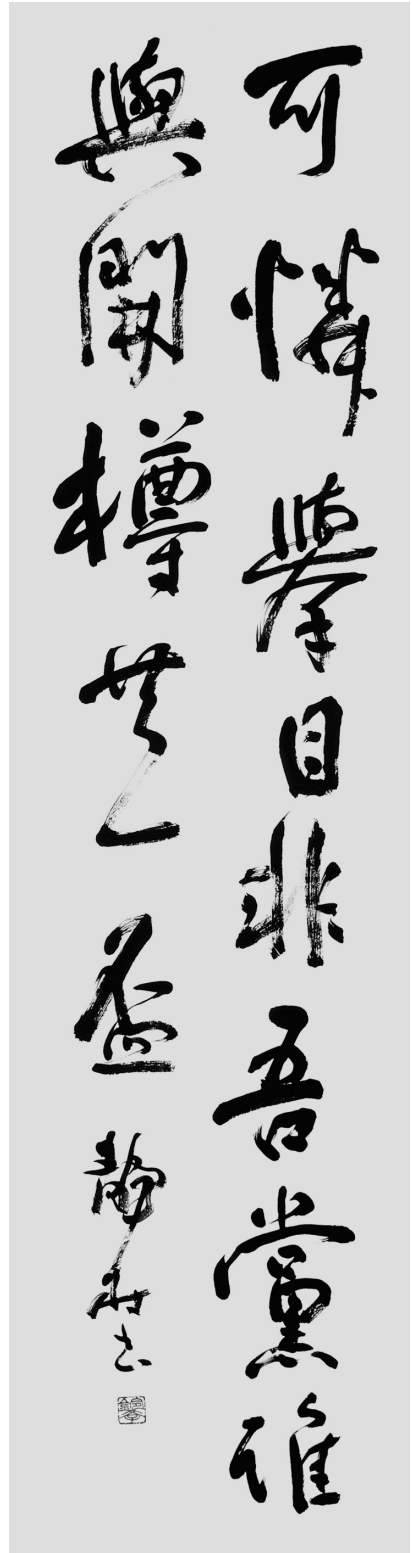


A

鈴木静村書

可憐舉目非吾黨 誰與開樽共一杯 (蘇東坡)  
 憐む可し目を挙げれば吾が党に非ず、誰と与にか樽を開いて一杯を共にせん。



B

高橋香樹先生書

掛けて見るに、いかにもパツとするものがない。淡々とだけで急迫性に欠ける。みなさんはもっと連綿用筆を導入し、躍動的流れを表現してほしい。可末画の夕テ画が中途半端、強さを。擧上半は「與」と同形。どちらか一工夫。樽中央のヨコ長画は、古典に多い形、字典参考に。共一連綿して「一」を強く。



筆は、唐筆の羊毫短鋒を使用。墨が濃墨の為、速筆になると渴筆が多くなるので遅筆にて送筆。文字は草書を主に構成。行書は憐・黨・樽の三字。可は木簡を参考。長縦画は憐・擧・開が可能だったが、構成を考え開を選択。二字連綿四ヶ所。同じ動きの連綿になることを避ける。墨継ぎは吾・樽。左訳：あわれ、見渡せば仲間はいない、樽をあけて誰と一杯やったものか。

右の行の出入りに意を用いる。

予告 (十二月二十二日締切)

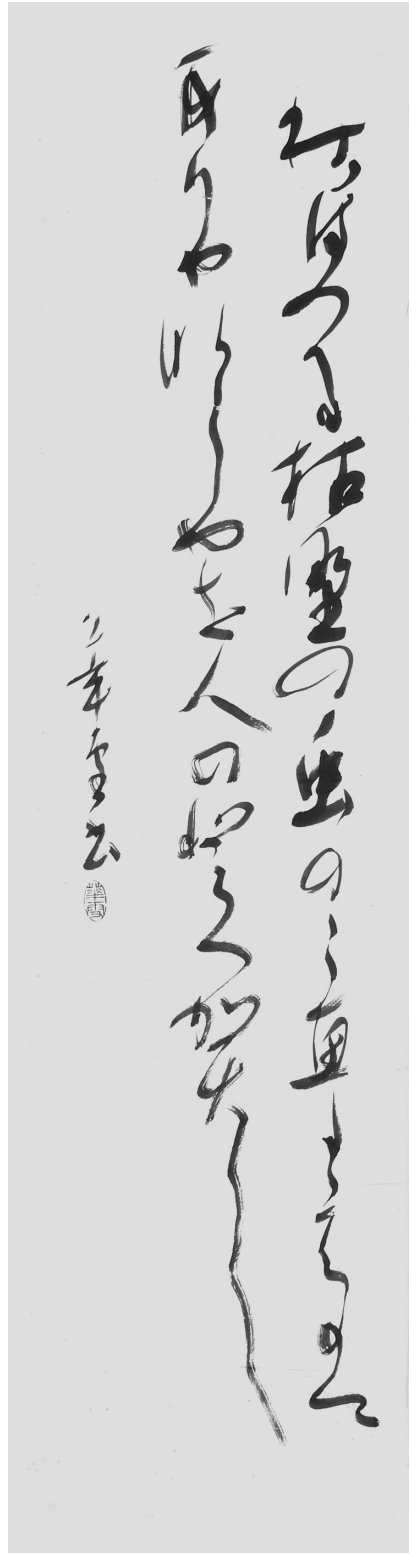
湛湛露斯 匪陽不晞 厭厭夜飲 不醉無歸 (詩經)

- ◆注意
  - ・条幅部の出品は一人一点 (バーコード券の条漢を○で囲み(1)と記入する。)
  - ・二枚目からの出品 (バーコード券の条漢を○で囲み( )に何枚目か数字を記入する。出品料500円)

A

平岡華雪先生書

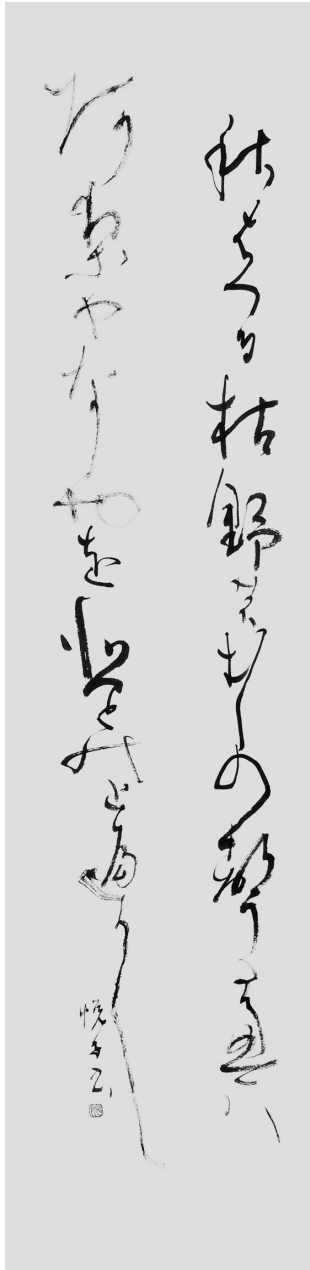
秋はつる枯野の虫のこゑたえばありやなしやを人のとへかし (千載和歌集 藤原基俊)



B

長野悦子先生書

秋はつる枯野農むしの聲多盈八阿梨やなしやを悲と能と遍可し



学び方

「歌意：秋も果てた頃、枯野の虫の声が絶えるように私の消息が途絶えたら、生きているかくらいは、尋ねて下さい。書き出し「秋者つる」は少し細く小さめに筆先を利かせ、「枯野農」は厚みのある線で「むしの聲」は四文字の連綿でアクセントに。「多盈八」は筆先で丁寧に。二行目の「阿梨やなしや」この部分は大きく渴筆で大胆に「を」で墨を入れ細く「悲と能」で筆圧の増減による太細の変化をつけてポイントとなるように。「と遍可し」で流れを振って筆圧と傾斜で引き締めます。

この歌は「千載和歌集」に収められている一首です。「千載和歌集」は勅撰和歌集の一つ。「詞花集」の後、「新古今集」の前に位置し、八代集の第七である。作者は藤原基俊。歌合では作者のほか、多くの判者もつとめ、源俊頼とともに院政期の歌壇の指導者として活躍した。漢詩文にも通じ「新撰朗詠集」を撰集している。書家としても名があり現存する書跡に「多賀切和漢朗詠集」「山名切新撰朗詠集」がある。俊頼や俊成よりも歌心にやさしさがあると言われている。

予告 (十二月二十二日締切)

あしびきの山の霞はたちまちに落葉のうへに音たてにけり (斎藤茂吉)

- ◆注意
  - ・条幅部の出品は一人一点 (バーコード券の条かを○で囲み(1)と記入する。)
  - ・二枚目からの出品 (バーコード券の条かを○で囲み( )に何枚目か数字を記入する。出品料500円)

平岡華雪先生書

林園俗情無し(陶潜)

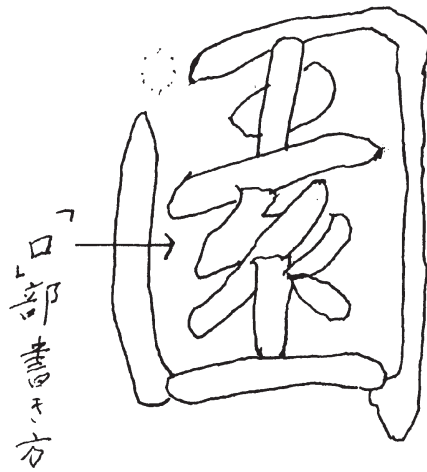
林園  
俗情  
無

訳：樹の茂った林には俗世間のわずらわしさはない。

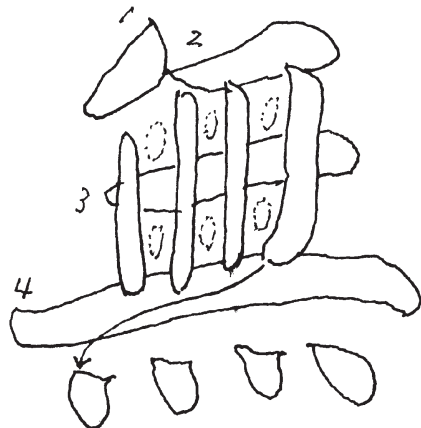
▼注意：…はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。

- ① 漢字部
- ② 支部名または都道府県名
- ③ 氏名または雅号
- ④ 新

会員は無料、会員外出品料は四〇〇円。

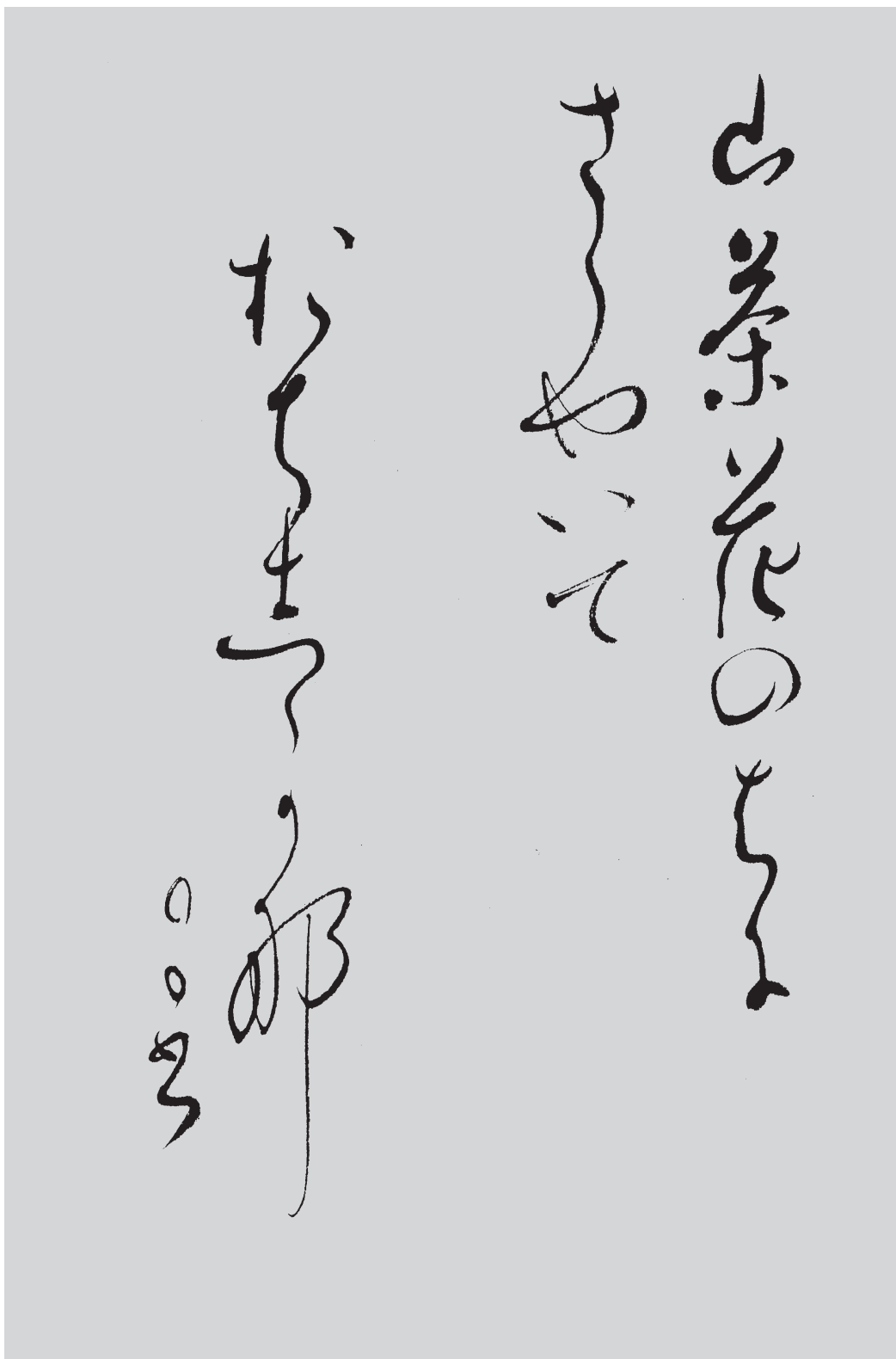


一つの見どころ  
 字配りのこと。「林」と「俗」  
 の並べ、二文字とし左なの  
 「木」が多く、画の接筆  
 を避けるのんやかいはおぼ  
 かしい。この「カ」  
 の一フー。



平岡華雪先生書

山茶花の葉にさくやいて落ちしかな(月舟)



▼注意……はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。

- ① かな部
  - ② 支部名または都道府県名
  - ③ 氏名または雅号
  - ④ 新
- 会員は無料、会員外出品料は四〇〇円。

山茶花の

て

書の余感

漢字は放ち書きの

三文字だけ、

他は変体が

なを全めず

の下の構成。右群の「て」……中七の活筆部分か

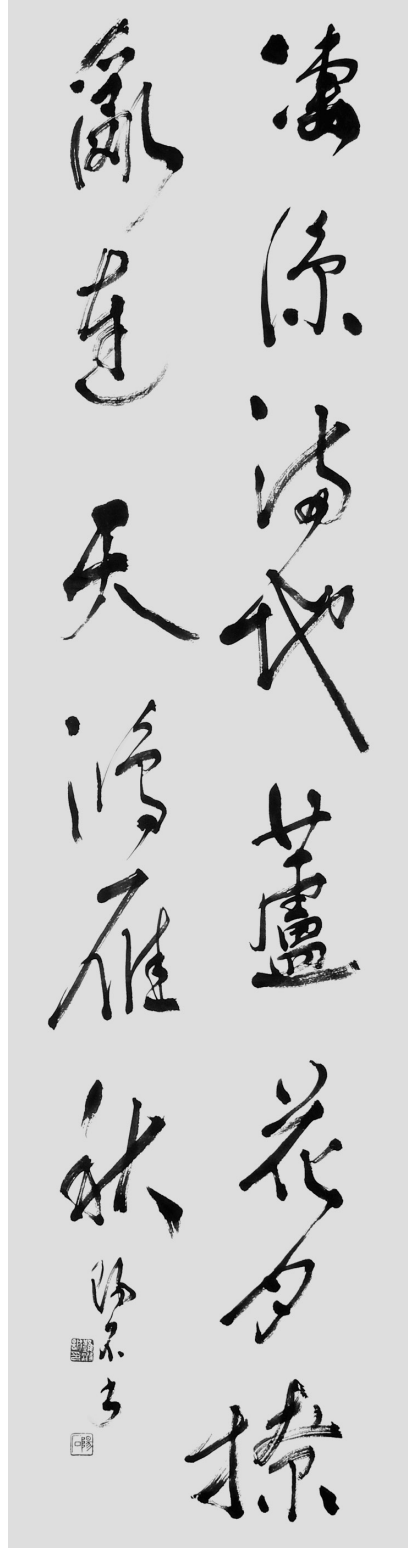
山端に在らうか。おとり字を不入た三字連絡に注目。下五は振幅の流水を効果的に揺り入れたい。「那」の末画は暢いやかに歸める感トー。

て

て

難波陽石先生書

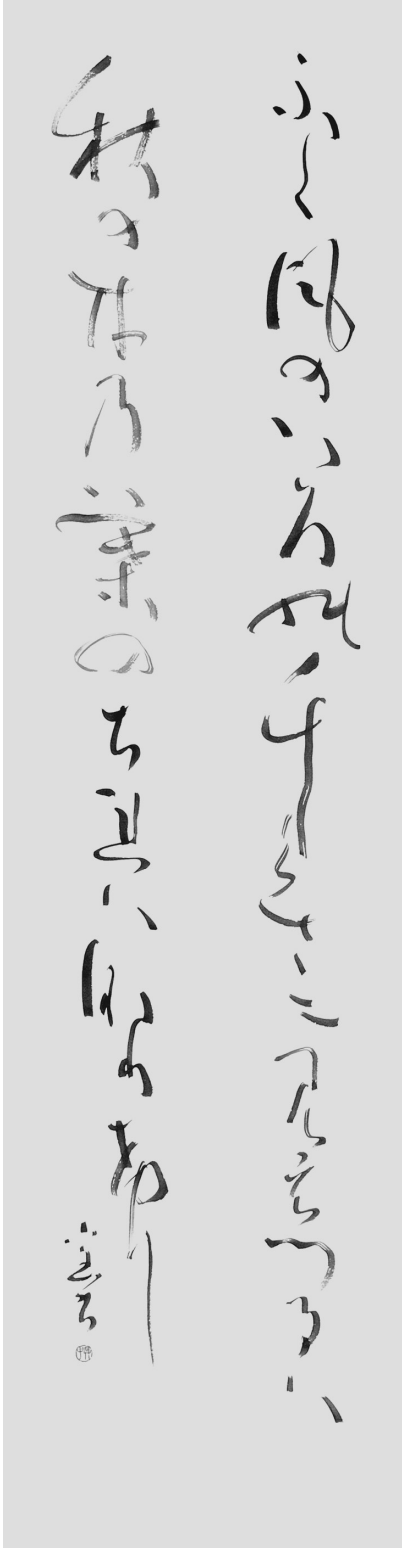
凄凉满地蘆花月 撩亂連天鴻雁秋（佛陽）  
 凄凉地に満つ芦花の月、撩乱天に連る鴻雁の秋。



訳…さびしく芦の花を照らす月はどこまでも明るく、空に影入りみだれて雁のわたる秋である。

高山小玉先生書

ふく風の色のちぐさに見えつるは秋の木の葉のちればなりけり（古今和歌集 よみ人しらず）  
 ふく風のいろ能千久さ二見え川る八秋の木乃葉のち連八那利希り

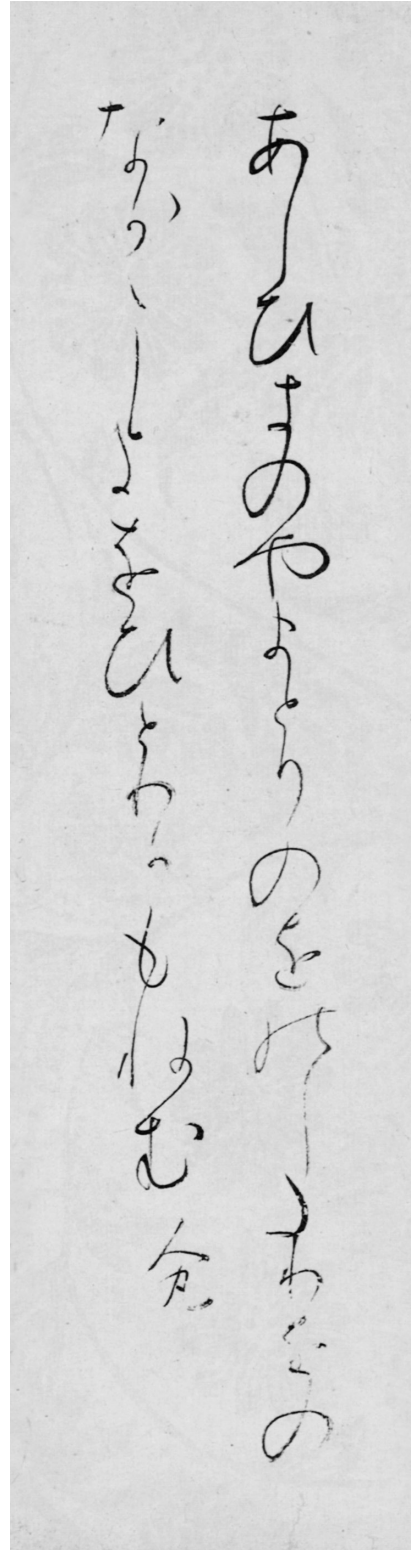


- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点（バーコード券の条随を○で囲み（1）と記入する。）
  - ・二枚目からの出品（バーコード券の条随を○で囲み（ ）に何枚目か数字を記入する。出品料500円）

# 題 課 部 書 臨 幅 条

北島 菁 丘 先 生 担 当 粘 葉 本 和 漢 朗 詠 集 ( 卷 上 ) 伝 藤 原 行 成 筆

※ 条 幅 臨 書 部 は 出 品 料 無 料 で す。



あしひきのやまどりのをのしだりをのながくしよをひとりかもねむ 人丸

(二玄社)

## 「解説」

(あしひき)の山鳥の尾の垂れ下がった尾のように長い夜をひとりで寝ることであろうか。

この歌は拾遺集百人一首には人麿作となっています。装幀は冊子本仕立ての粘葉装で紙を綴じたもので、二つに折った外側に糊をつけ(約一センチ幅)次々と重ねて表紙をつけたものです。

今回は実力養成の為の連綿法を取り上げました。

(1) 中心法 上下の中心が一直線に並ぶ一般的な連綿。

(2) 中心移動法 二字の中心が右か左へずらして連綿を短くする時。

空間を右か左に取りたい時。

(3) 省略法 最終画と二字目の第一画を共有して連綿を省略する連綿法。

(4) 傾斜法 文字を傾けて余白やうねりを表現。

(5) 意連 連綿なしで気脈がある連綿法。

## (学び方)

気をぬかない

ねばる

明るく

省略法

転折強く

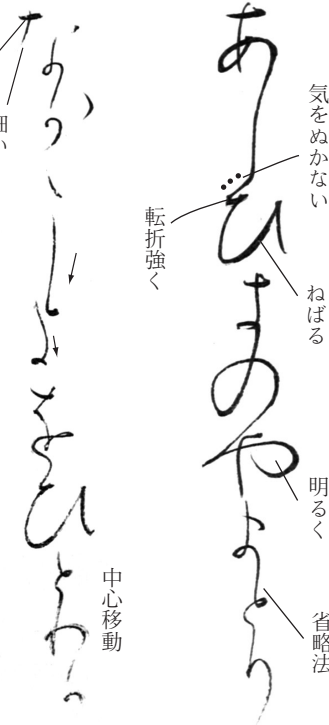
中心移動

太い

細い

強く

折返し強く

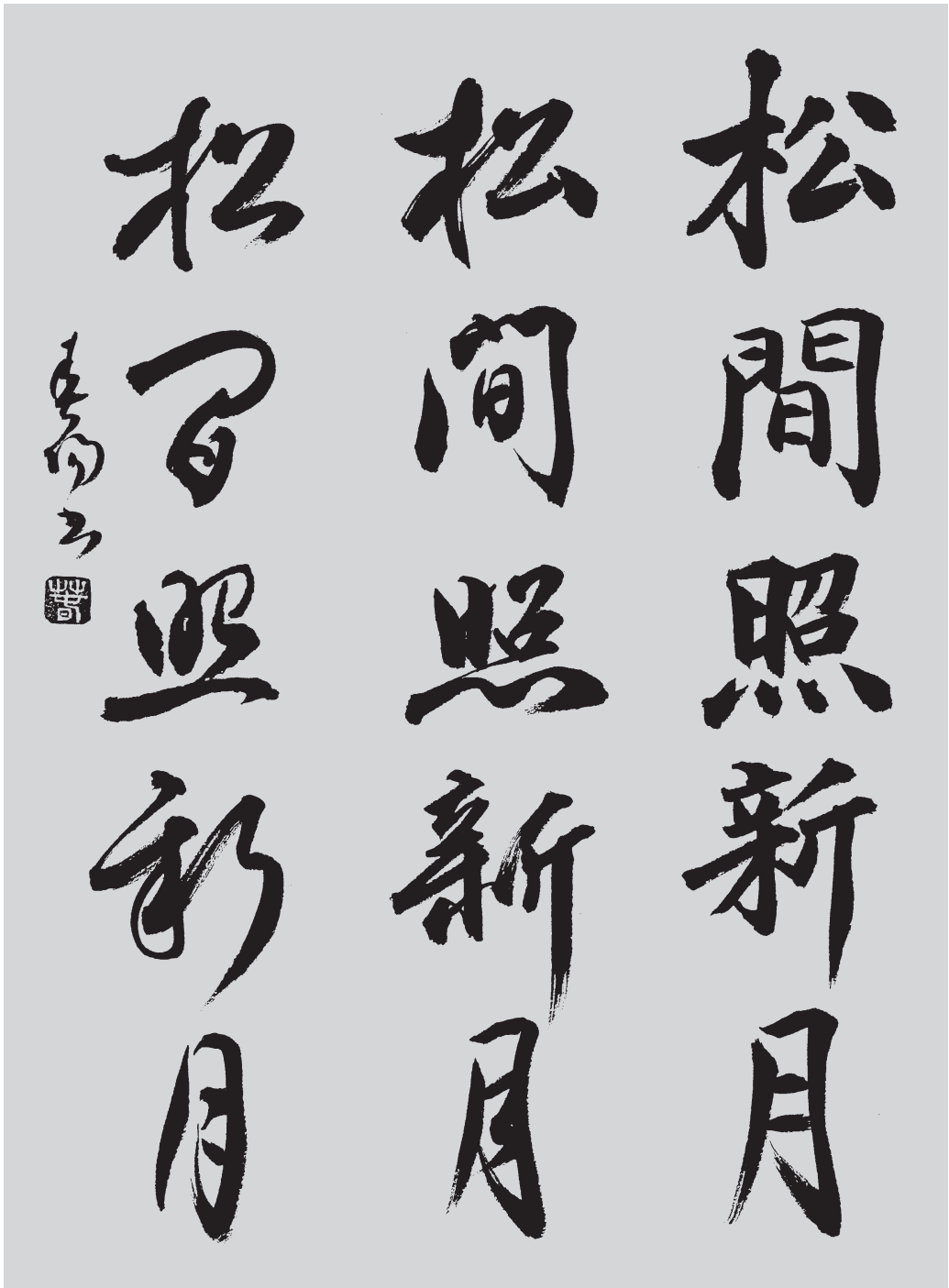


◆ 注 意 ・ 条 幅 臨 書 部 の 出 品 は バ ー コ ー ド 券 右 空 欄 に 条 臨 と 記 入 す る。



星野春陽先生書

松間照新月（羌虬縁）  
しょうかんしんげつのかげや  
松間照新月照く。



訳…青々たる松の間に三日月がきら／＼輝いている。

1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は400円。

一字書参考

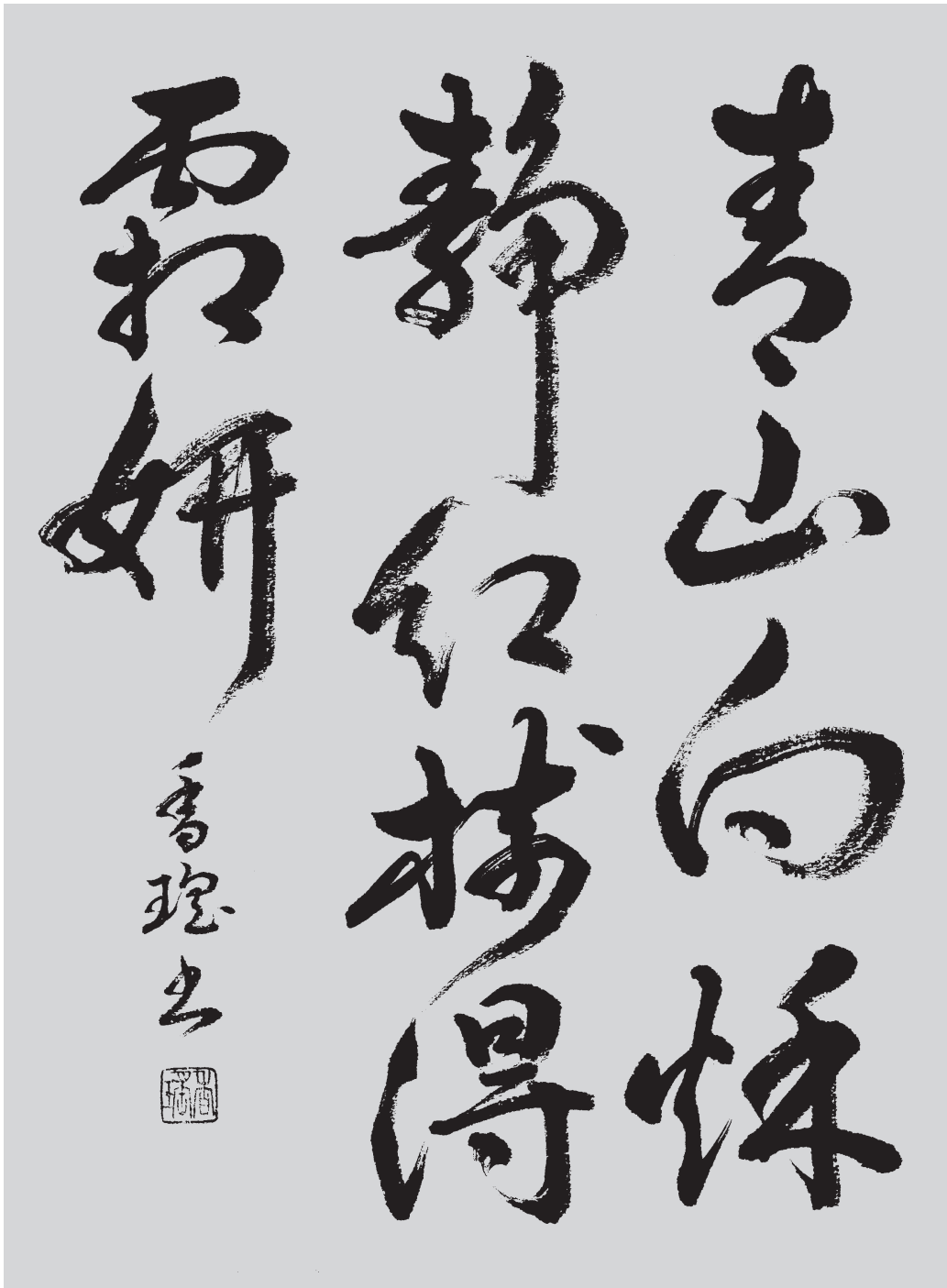
高橋香樹先生書  
躍



◆随意部参考として出品してください。

内藤 香 瑶 先 生 書

青山向秋静 紅樹得霜妍（陸學飲）  
青山秋に向って静に、紅樹霜を得て妍なり。



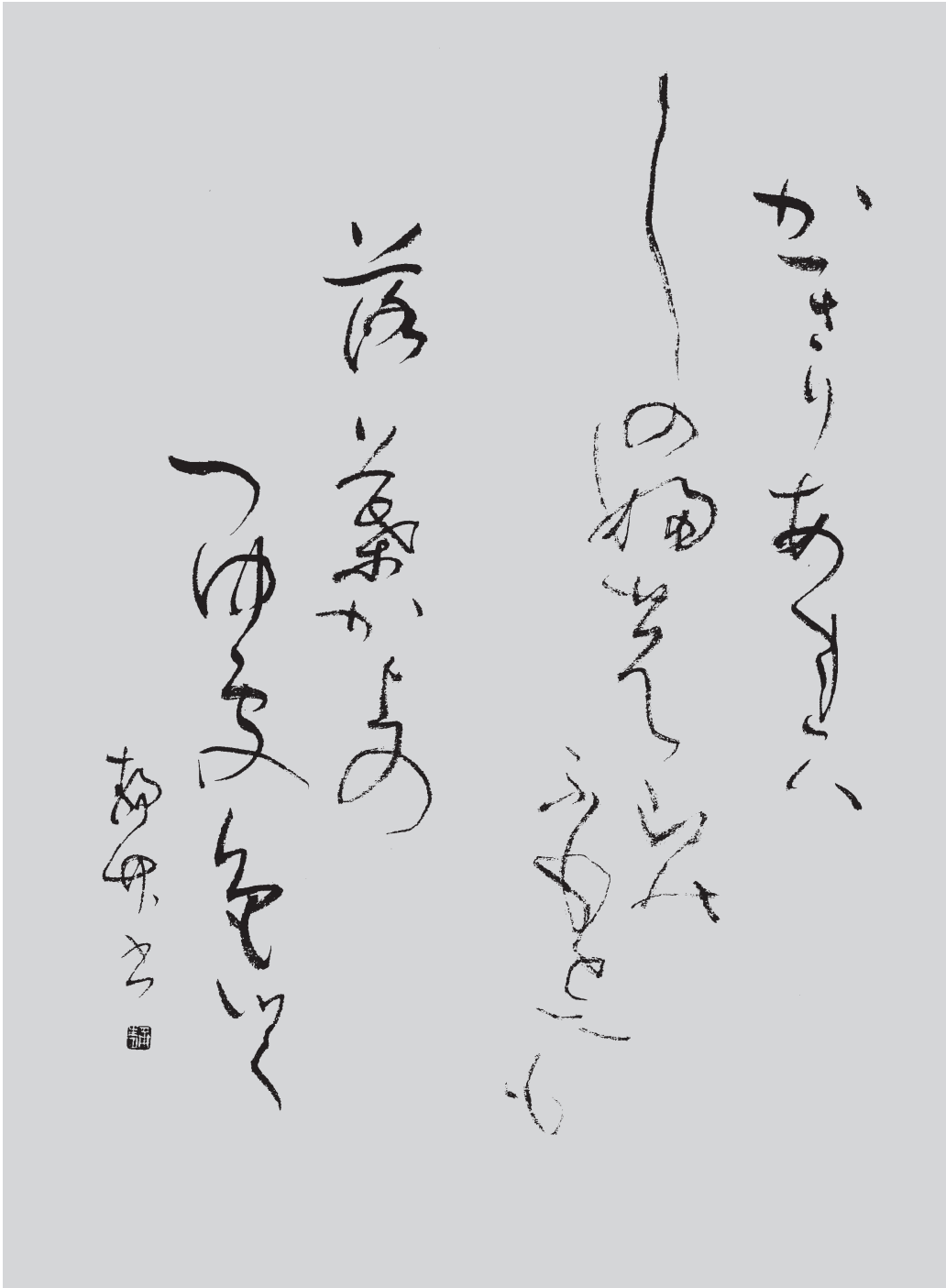
訳：青々たる山は秋に入って静かに、赤くなった樹は秋の霜に染め出されて美しい。

添削又は手本希望者は本会規定により、内藤香瑶先生（〒344-0112 埼玉県春日部市西金野井338-59）に直接お申し込みください。

鮎川静竹先生書

かぎりあれば信夫の山のふもとにも落葉がうへの露ぞ色づく（新古今和歌集）  
かきりあ連八しの婦農山能ふもとにも落葉か上のつゆ處色川く

左衛門督通光



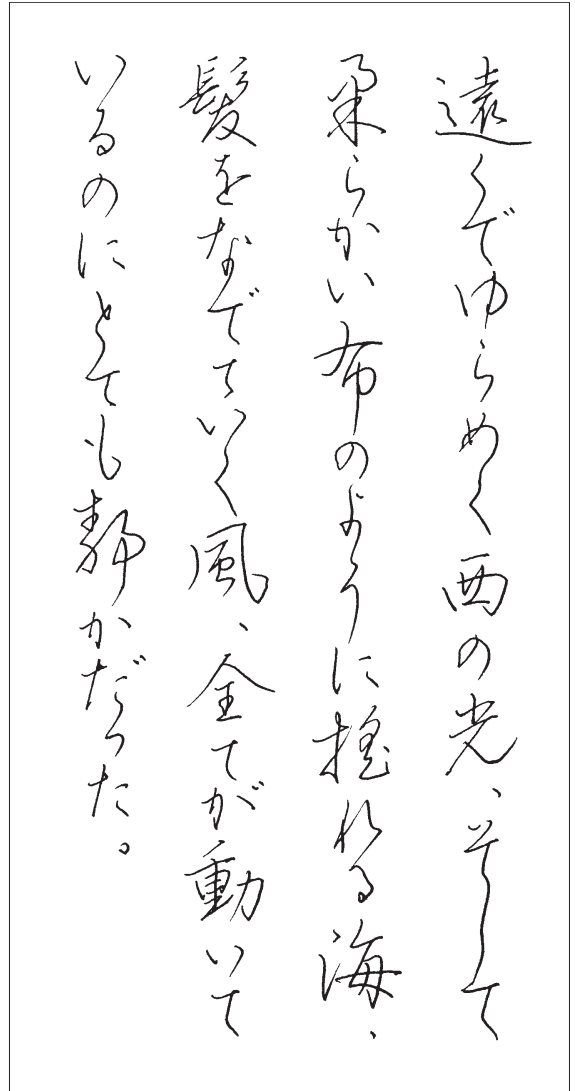
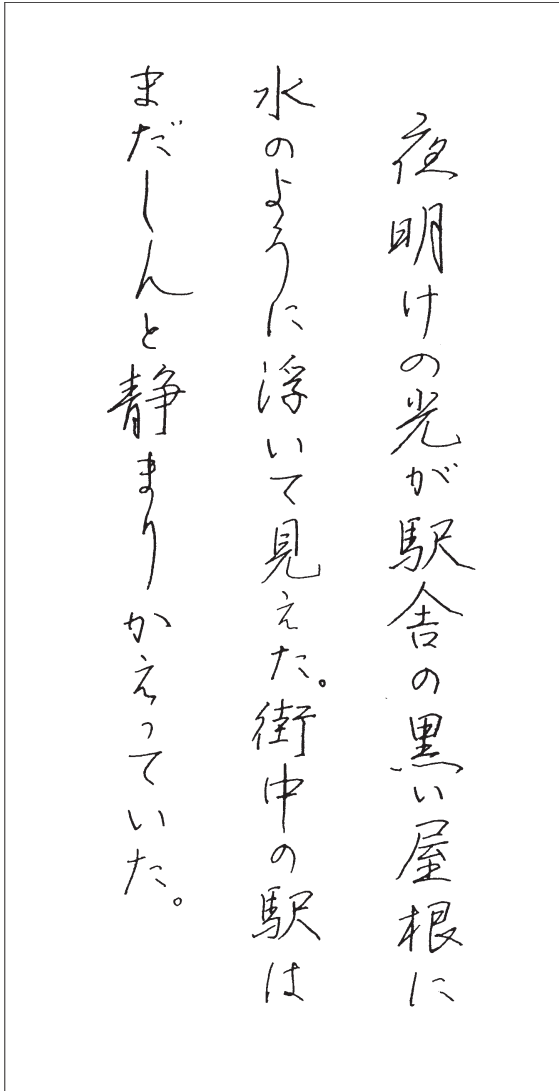
添削又は手本希望者は本会規定により、鮎川静竹先生（〒145-0063 大田区南千束1-23-7）に直接お申し込みください。

湯澤春翠先生書

路川千曄先生書

課題2 (初段格以下)

課題1 (初段以上)



正教授 創作部門 (自運作品、自由形式、硬筆用紙使用)

課題1 (初段以上)

遠くでゆらめく西の光、そして柔らかない布のように揺れる海、髪をなでていく風、全てが動いているのにとても静かだった。

「虹」吉本ばなな

◆注意

- (1) 自分の段級に合った課題を選択。ペンまたはボールペン(黒色)を使用のこと。青インクは不可。
- (2) 段級欄は本人が記入(色は黒)はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位) 次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。①硬筆部②支部名または都道府県名③氏名または雅号④新
- (3) 会員は無料・会員外は四〇〇円
- (4) 添削希望者は直接担当の先生にお申込下さい。(返信用封筒に自分の住所・氏名を記入し、切手を貼って同封のこと)。
- (5) 課題1 六〇〇円
- (6) 課題2 三〇〇円

課題1 路川千曄先生 〒二〇七〇〇三

東大和市向原五ノ一〇九一ノ四

課題2 湯澤春翠先生 〒三七一〇〇二六

前橋市城東町一―二九一五

課題2 (初段格以下)

夜明けの光が駅舎の黒い屋根に水のように浮いて見えた。街中の駅はまだしんと静まりかえっていた。

「風の家」高瀬千図